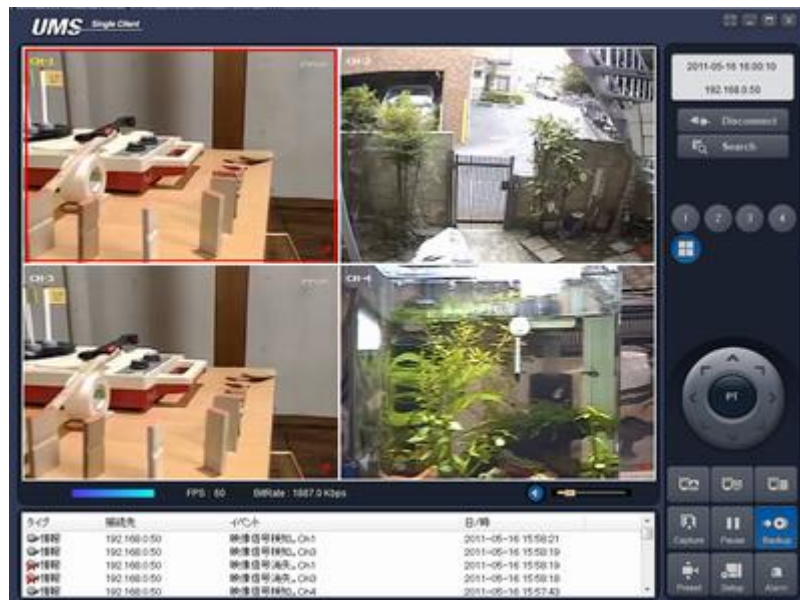


# UMS

(Universal monitoring Systemi)

ユニバーサル モニタリング システム

Version: 3.8.1



## アイゼック株式会社

本書はアイゼック株式会社の著作物であり、  
著作権はアイゼック株式会社株式会社が保有します  
本書の常識の範囲を超えた複製、引用は禁止致します

## 目次

1 UMS Universal Monitoring System の概要 .....	2
1-1 UMS の特徴.....	2
1-2 接続可能な範囲と制限事項 .....	3
1-2-1 UMS ソフトウェアの接続機種 .....	3
1-2-2 同一ネットワーク上での LAN 接続.....	3
1-2-3 インターネット経由で、同一場所で複数の PC による参照.....	3
1-3 UMS ソフト用 PC 推奨仕様 .....	4
2 クライアントソフトウェアによるリモート接続 .....	5
2-1 ソフトウェアのインストール .....	5
2-2 接続 DVR の設定 .....	6
2-3 ライブモードと機能.....	7
2-3-1 LIVE 画面表示の画質 .....	8
2-3-2 表示画面の切替 .....	8
2-3-3 ライブ画面のイメージキャプチャー .....	8
2-3-4 デジタルズーム .....	9
2-3-5 表示画面の解像度変更 .....	9
2-3-6 PC への録画 .....	9
2-3-7 ライブ画像の解像度変更.....	9
2-4 検索モードと機能 .....	10
2-4-1 録画データの検索 .....	11
2-4-2 クイックサーチ .....	11
2-4-3 録画データのバックアップ(AVI) .....	11
2-4-4 PC に録画された画像の再生.....	12
2-5 システム設定.....	12
2-5-1 全般設定 (General) .....	12
2-5-2 接続先設定 (Site) .....	13
2-5-3 イベント設定 (Event)・イベントサーチ (Event Search) .....	13
2-5-4 録画設定 (Record)・録画スペース設定 (Disk) .....	14
2-5-5 ディスプレイ .....	15
2-5-6 言語設定 (Language) .....	15
3 レコーダーの遠隔設定変更 .....	15

## 1 UMS Universal Monitoring System の概要

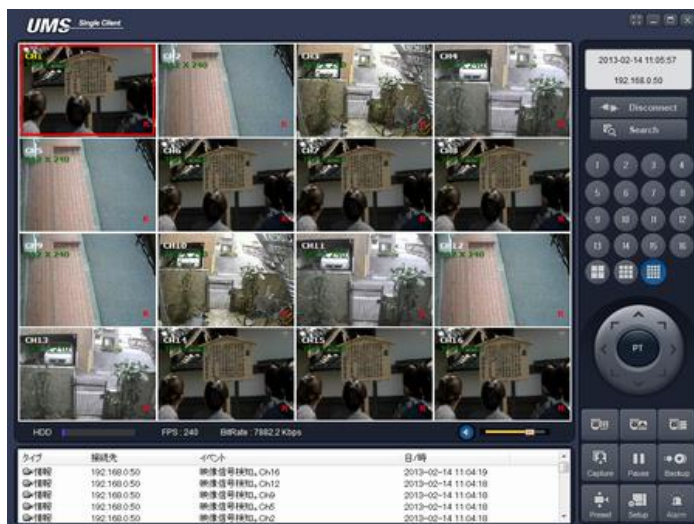
UMS はデジタルレコーダー「AHE/NHE/NE/AHM/AHS/NVR/HDS/HDM/S/HD/E/NM/NS モデル」の遠隔モニタリングシステムです。又、UMS-M は 16 台までのデジタルレコーダーを同時に接続が可能で、最大 256 台のカメラ映像を同時に表示する事が可能です。「VWHD-4500/9000/16000/16200」でも遠隔設定及びバックアップを除いて使用可能です。

### 1-1 UMS の特徴

- デジタルレコーダーは 1ch から 16 チャンネルまでをサポートで最大 16 画面
- 1 分割表示から最大 16 分割表示が可能
- 音声の双方向通信
- インターネット環境に接続されたレコーダーとの接続
- パーソナルコンピュータへの録画機能(常時録画、モーション録画、センサー録画)
- リモート機器のリレー出力(1 台の DVR に対して 1 接点)
- DVR に接続されたセンサーの状態表示
- デジタルレコーダーの録画バックアップ機能
- PTZ カメラの方向制御機能
- 100 台までの接続先登録 選択して接続が可能です

このソフトウェア機能を使うためには、LAN 又はインターネットに接続が必要です。LAN ケーブルを DVR の背面の RJ-45 端子につないで使します。

DVR 本体で録画をしていない場合は、フレームレートは 1 フレーム/秒に制限されます。DVR 本体で録画中の場合、フレームレートは録画フレームレートに従います。



Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10 が必要です。

注意: DVR にネットワークから同時にアクセス出来るのは最大 4 ユーザまで(リアルタイム画面)

遅いネットワーク環境では、1 ユーザでのアクセスをお勧めします。

又、検索再生画面への同一 DVR へのアクセスは 1 ユーザのみとなり、複数同時の操作は不能です。

## 1-2 接続可能な範囲と制限事項

### 1-2-1 UMS ソフトウェアの接続機種

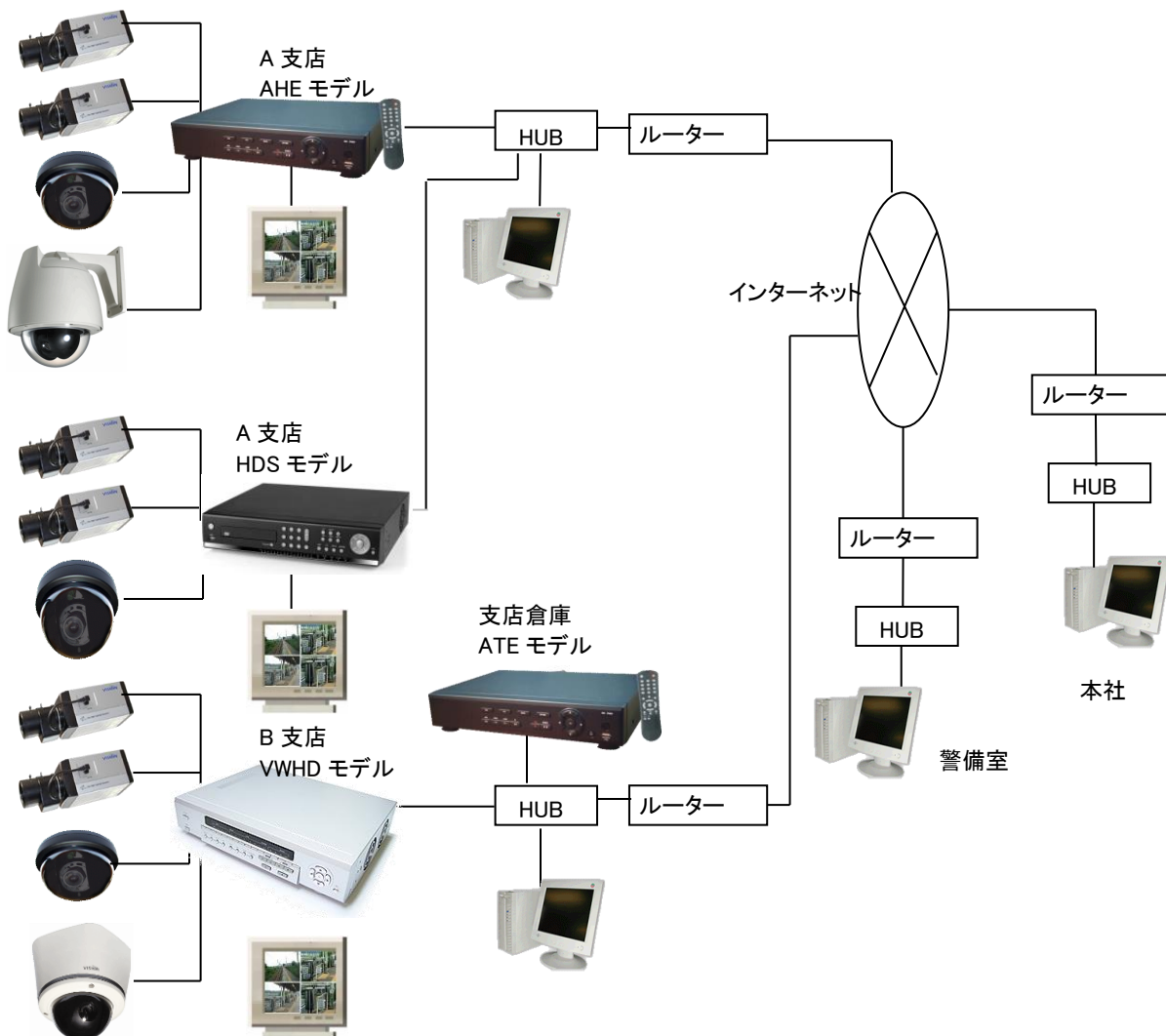
UMS は「AHE/NHE/NE/AHM/AHS/HDS/HDM/S/HD/E/NM/NS モデル」及び NVR シリーズで使用可能です。  
 VWHD-4500/9000/16000 では遠隔設定はサポートされません。

他社レコーダーには使用できません、障害発生の可能性が有りますので注意して下さい。

### 1-2-2 同一ネットワーク上での LAN 接続

同一のネットワークアドレス上での制限事項は有りません(DVR の接続可能数の範囲内)

### 1-2-3 インターネット経由で、同一場所で複数の PC による参照



### 1-3 UMS ソフト用 PC 推薦仕様

本ソフトウェアは圧縮された画像を復元しながら画面に表示します。

例として 4ch の E412 でカメラ 4 台が 1 秒 30 枚録画の場合 1 秒間に 120 枚の画像になります。

これらはパーソナルコンピュータの性能に大きく影響します。又ネットワーク速度も高速な回線が必要です。

プログラムをインストールする前にPCの仕様をチェックしてください。PC が必要最小限の機能を満たさない場合、ソフトウェアが正しく動作しない場合があります。

	最小仕様	標準仕様
CPU	Intel Core 2 Duo E8500	Intel Core i7 Quad 920(2.66GHz)
CPU クロック	3Ghz	2.66Ghz
メモリー	256MB	2GB
VGA	GeForce 9600 GT 512MB 等	GeForce GTX 260 896MB 等
画面解像度	1024x768	1024x768
空きディスクスペース	20MB	40MB
データ保存ディスクスペース	40GB	250GB
OS	Windows, XP,WindowsVista,7, Windows8,Windows10	Windows, XP,WindowsVista,7, Windows8,Windows10
Network	10/100Base T	10/100Base T
その他	Direct X 8.1 以上	Direct X 9.0 以上

#### 注意

NE/NM/NS モデルではレコーダーのストリーミング設定でのフレーム数と解像度が適用されます

その他のモデルではネットワークでの画像表示はレコーダーの解像度と録画フレーム数が適用されます。標準仕様は 352×240 の画像で1秒間にカメラ当り 4 枚程度を目安にして下さい。

画像の表示を行うと PC の他の操作が出来ない、画面の切替が出来ない等の症状が出た場合は PC の処理能力が不足しています。

接続する DVR 又は表示カメラを少なくする、DVR の録画速度を遅くする、又は DVR のネットワーク設定で帯域幅節減を有効にしてください。(1 秒 1 枚の更新になります)

## 2 クライアントソフトウェアによるリモート接続

DVRはライブリモート監視機能を提供します。クライアントソフトをPCにインストールします。

DVRにネットワークから同時にアクセス出来るのは最大4ユーザまでです。遅いネットワーク環境では、1ユーザでのアクセスをお勧めします。

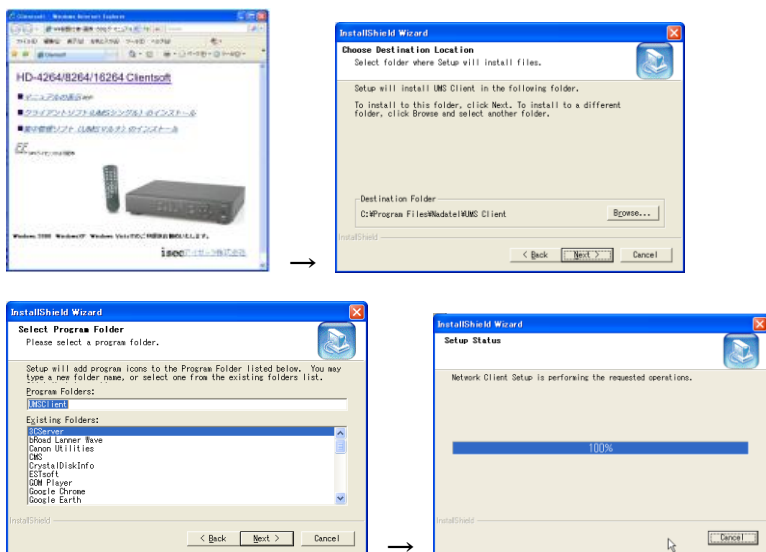
### 2-1 ソフトウェアのインストール

インストールを始める前に下記を行ってください。パソコンにソフトウェアのインストールを開始する前に全てのアプリケーションを終了してください。

注：コンピュータ上に既存のクライアントソフトウェアがある場合、古いバージョンをアンインストールします。  
 (新しいバージョンのクライアントソフトウェアをインストールしようとする時、古いバージョンのアンインストールが自動的に開始されます。アンインストール実行後、再度インストールを実行してください。)

PCのCD-ROMドライブにCD-ROMを挿入すると下記のメニューが自動的に表示されます。自動表示されない場合は、ネットワーククライアントのインストールを始めるためにCD-ROMドライブのフォルダを開き「ums.exe」ファイルを実行してください。ネットワーククライアントのインストールが終了するとアイコンがデスクトップに自動的に作成されます。

1. クライアントソフトCDをPCのCDドライブに入れます。
2. メニューが自動的に表示されます。
3. 「クライアントソフトのインストール」をクリックすると、ファイルダウンロードのダイアログが表示されますので、指示に従ってインストールを開始してください。

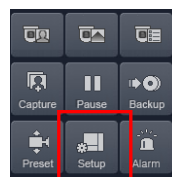


4. Windowsのデスクトップにアイコンが自動作成されます。

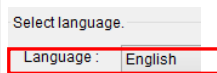
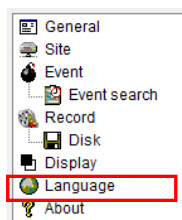


起動すると初期では英語モードです。

日本語にするにはsetupの2-4-6言語設定 (Language)にて設定します

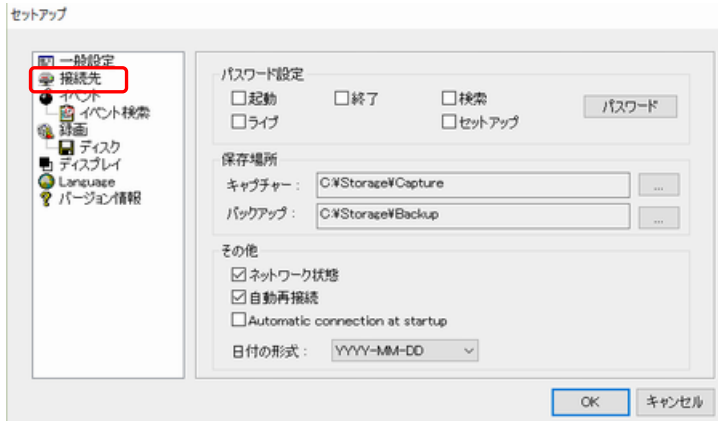
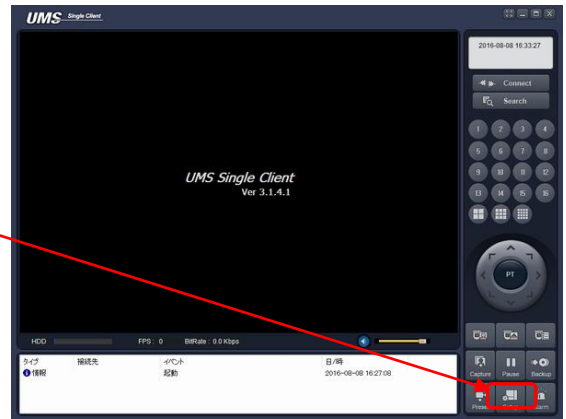


**Japanese** を選択後UMSを閉じて再起動します

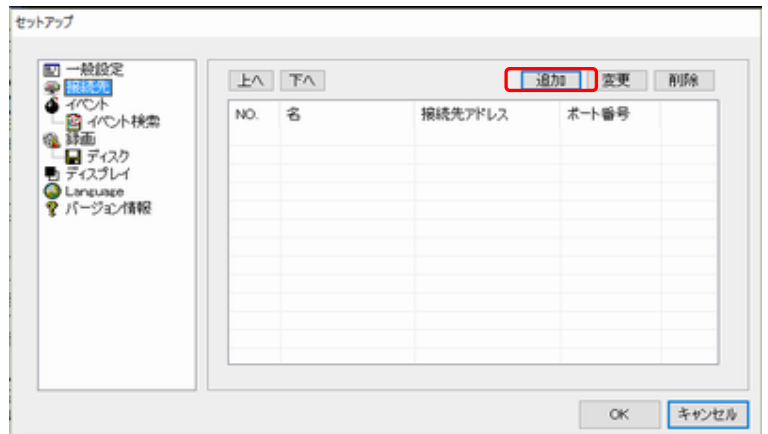
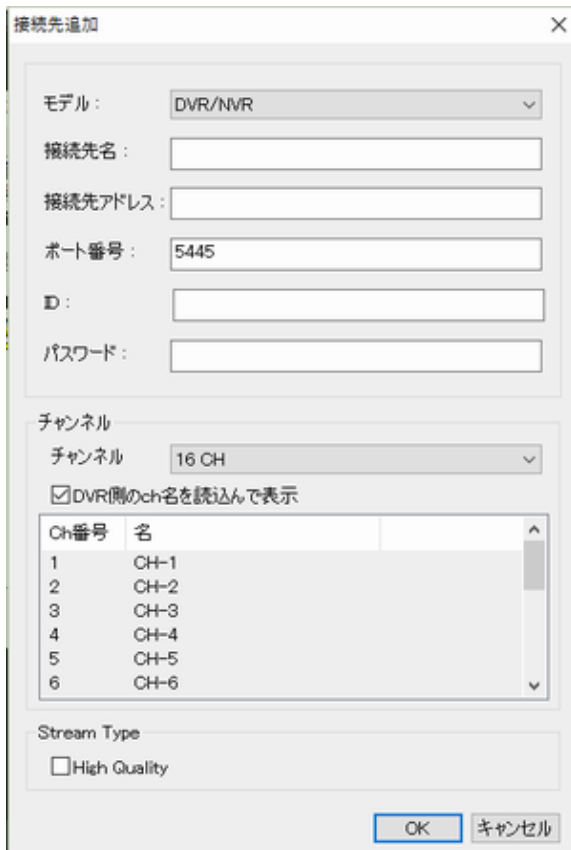


## 2-2 接続 DVR の設定

- UMS を起動します
- Setup アイコンをクリックします
- 接続先をクリックします




- 追加をクリックします



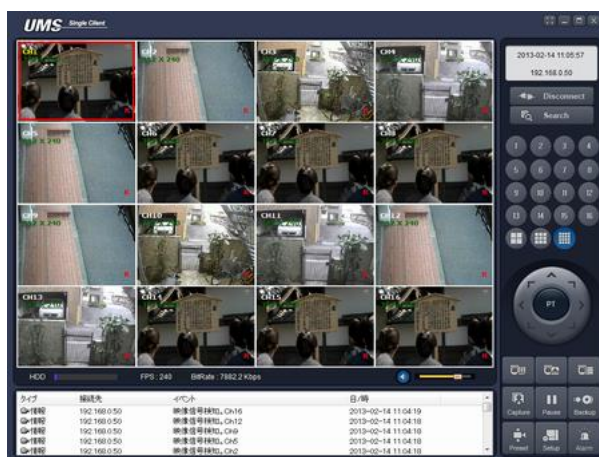
- モデルを該当モデルにします 通常は DVR/NVR
- 接続先名 解りやすい名称を入力(自由)
- 接続先アドレス :IP アドレス又はドメイン名を入力。
  - DDND を使用している場合は XXXX.bestdns.com
- ポート番号 : DVR に設定されているポート番号
  - 初期値は 5445
  - インターネット経由の場合はルーターの設定が必要です。
- ID : 指定した ID 初期値は admin
- パスワード : 初期値は 1111

- OK ボタンを押すと登録されます。



OK ボタンを押して終了し初期画面の  をクリック。

### 2-3 ライブモードと機能



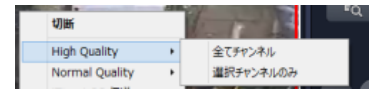
 2010-02-08 09:50:03	<b>日時</b>	現在の日付と時間
	<b>CONNECT/DISCONNECT</b>	ネットワークの 接続／切断
	<b>SEARCH</b>	検索モードに切り替える
	<b>DISPLAY MODE</b>	チャンネルとスクリーンの表示モードを選択
	<b>PAN/TILT/ZOOM/ FOCUS</b>	可動カメラの PAN/TILT/ZOOM/FOCUS を操作
	<b>CAPTURE</b>	ライブ画面の静止画をキャプチャー
	<b>PLAY/PAUSE</b>	ライブビデオの一時停止／解除
	<b>Backup</b> 	表示しているチャンネルが録画されます。 保存先は Setup 画面の一般設定で変更できます。 録画中は空色のボタンになります、再度ボタンを押すと録画が終了します
	<b>ALARM</b>	DVR のアラームアウトプットの ON/OFF ボタン。DVR のアラームが出力された時は、このボタンは赤くなります。
	<b>Preset</b> 	PTZ カメラのプリセット設定及びプリセットした方向に移動します。 コントロールボタンが変わります。 上下キーでプリセット番号を選択します。
	<b>SETUP</b>	クライアントソフトの設定画面を表示
	<b>HDD USAGE</b>	HDD 録画情報
	<b>NETWORK BANDWIDTH</b>	伝送されたフレーム数と帯域巾
	<b>AUDIO</b>	音声ボリューム調整。アイコンのクリックで ON/OFF 切替
	<b>LOG WINDOW</b>	ログ表示



### 2-3-1 LIVE 画面表示の画質

分割画面での画質とフレームレートは本体設定のネットワークストリームで設定した解像度とフレーム数で表示されます。

マウスにて画像上で右クリックによりメインストリームとサブストリームを選択します。



### 2-3-2 表示画面の切替

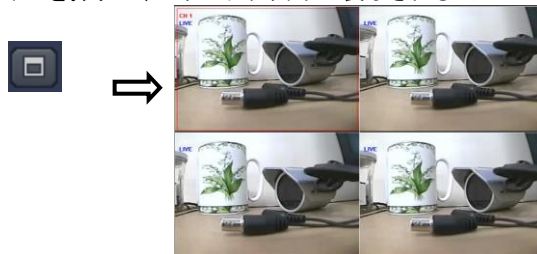
- 個別チャンネル：チャンネルボタンをクリックするか、該当チャンネルの画面をダブルクリック



- 分割画面：分割ボタンをクリック



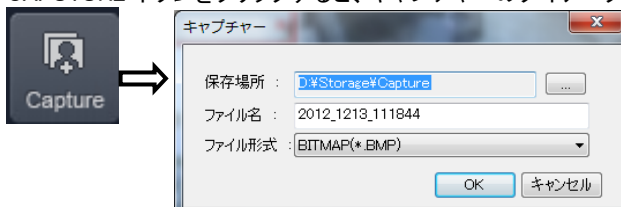
- フルスクリーン表示：画面右上の最大化ボタンをクリック  
画像をスクリーン全体に表示します。コントロールパネルは隠されます。元に戻るには PC の ESC ボタンを押すか、マウス右クリックで表示されるメニューから Full Screen のチェックを外してください。



### 2-3-3 ライブ画面のイメージキャプチャー

ライブ画面の静止画(BMP・JPEG)をキャプチャーする事が出来ます。

- ① キャプチャーする画面をクリックして選択します。選択されたチャンネルは赤枠で囲まれます。
- ② CAPTURE ボタンをクリックすると、キャプチャーのダイアログが開きます。



- ③ 保存先・保存形式等を設定して OK をクリック

### 2-3-4 デジタルズーム

1画面表示にてデジタルズームが可能です。  
画面上にマウスを置きマウスのホイールを回すとデジタルズームが動作します。  
左下に現在表示されているエリアが赤枠で表示されます。



### 2-3-5 表示画面の解像度変更

遠隔でのライブ表示は本体のセットアップメニュー->デバイス内のネットワークストリームで設定された画像がデフォルトで表示されます。

録画と同じ解像度で表示する場合は画面上で右クリックすると Main Stream と Sub Stream が選択できます。

Main Stream は録画と同じ画像です、Sub Stream はネットワークストリームで設定された画像です。

### 2-3-6 PC への録画



録画 on ボタンを押していた期間の画像データが PC に保存されます。保存されたデータはクライアントソフトの検索画面で参照可能です。

録画された画像はセットアップメニューの一般設定/保存場所のバックアップで指定したフォルダーに記録されます。  
20120829\_0.ndb の様な名称で保存されます

再生方法は検索モードと機能で検索媒体切り替えにて行います。

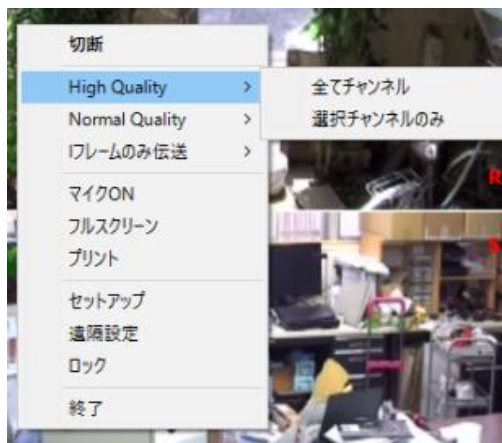
### 2-3-7 ライブ画像の解像度変更

画面上で右クリックするとサブメニューが表示されます。

High Quality : 高解像度に変更します(録画している画像)

Normal Quality : 標準画質に変更します  
本体のシステム設定で NETWORK STREAM で指定した解像度

Iframe Only : H.264 で圧縮している I フレームのみの画像  
約 1 秒間隔で表示されます  
(ネットワーク負荷を軽減できます)


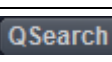



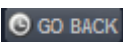
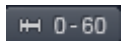

## 2-4 検索モードと機能

 Search

ボタンを押すと検索画面が表示されます

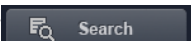


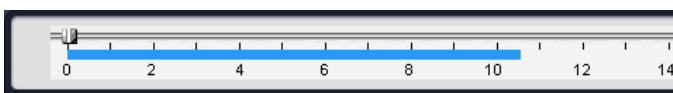
	日時	画面下部のタイムラインバーで選択している録画データの時間を表示
	DISCONNECT	ネットワーク接続を切断
	LIVE	ライブモードへ切り替える
	CAPTURE	録画データの静止画 (JPEG・BMP) をキャプチャーします。
	MARK IN	ビデオバックアップのスタート位置を設定します。
	MARK OUT	ビデオバックアップの終了位置を設定します。
	Remote Log	レコーダーの Log を表示します (対応機種のみ)
	BACKUP	MARK IN・MARK OUT で選択した期間をバックアップ (AVI) します
	SEARCH CALENDAR	録画データのある日付は薄い水色 選択している日付を濃い水色で表示します。
	TIMELINE BAR	録画データのある時間を濃い水色で表示します。
	スケール切替	タイムラインバーのスケールを 24 時間 / 60 分で切替ます
	カメラ選択	タイムラインバーに録画データ情報を表示するチャンネルを選択
	検索媒体切替	DVR の録画データを検索するか、ライブモードで PC 内に録画したデータを検索するか切替ます。
	クイックサーチ	日付指定の後サムネイル画面で検索が可能です。
	PLAYBACK BUTTON	再生操作ボタン

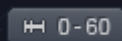
	時刻検索	時刻を入力して検索します
	時間/分 切替	タイムラインの表示が 24 時間/1 時間で切り替わります。
	DISPLAY MODE	チャンネルとスクリーンの表示モードを選択

### 2-4-1 録画データの検索

リモート接続の DVR 録画データと、PC 内に保存された録画データの検索と再生が行えます。

- ① DVR にリモート接続をして  ボタンを押すと、ライブモードから検索モードに画面が切り替わります。PC 内に保存されたデータを検索する場合は、ネットワークに接続しないで検索モードにするか、若しくは PC/DVR ボタンで切替ます。
- ② 検索する日付を選択
- ③ タイムラインバーのつまみをスライド(ドラッグ)させて、任意の時間帯を選択します。

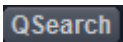


より詳細に検索時間を選択する場合は、 スケールの切替ボタンをクリックして60分表示に切替ます。選択していた時間帯を 60 分表示します。

- ④ PLAY ボタンを押すと再生が開始されます。



### 2-4-2 クイックサーチ

 ボタンを押すと現在参照中の日の画像が 1 時間間隔のサムネイル画像で小さく表示されます。

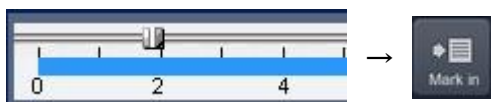
参照したい時間の画像をクリックすると 2 分 30 秒間隔の画像が表示されます。



### 2-4-3 録画データのバックアップ(AVI)

リモート接続した DVR の録画データを、PC の HDD に AVI フォーマットで保存できます。

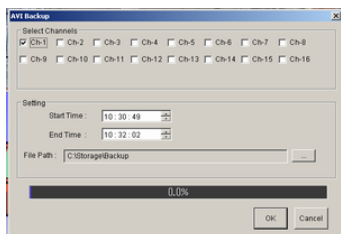
- ① DVR にリモート接続をして、検索モードに切替、バックアップする録画データを検索します。
- ② タイムラインバーからスタート位置を選択し MARK IN ボタンをクリック



③ 終了位置を選択し、MARK OUT ボタンをクリックすると選択された期間が緑色で表示されます。バックアップ期間を設定したらバックアップボタンをクリックします。



④ AVI バックアップのダイアログが表示されたら OK ボタンをクリックします。



- バックアップするチャンネルを選択します
- スタートタイム・ストップタイムは変更可能です。
- データ保存先を選択出来ます。
- バックアップするチャンネルを選択出来ます。

### 2-4-4 PC に録画された画像の再生

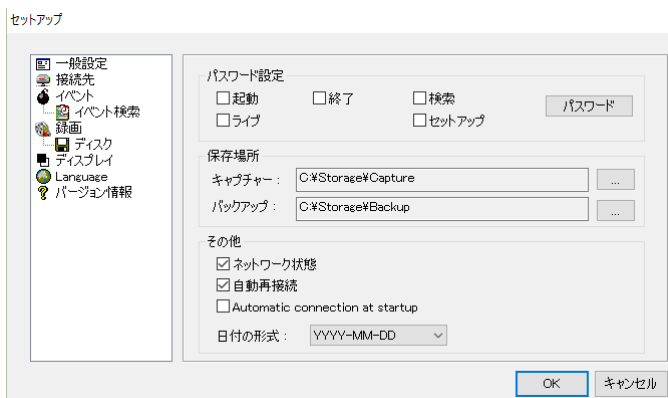
LIVE にて録画された画像を再生する場合は SERCH モードにて画面左下の **PC / DVR** ボタンを押します。

ボタンが **PC / DVR** 色に変わります。

録画されている場所を選択して再生ボタンを押します。

## 2-5 システム設定

SETUP ボタンをクリックすると、システム設定ダイアログが表示されます。



### 2-5-1 全般設定 (General)



#### パスワード設定

: クライアントソフト(UMS)のパスワード設定です。

起動: UMS を起動時パスワードが必要になります

終了: UMS を終了時パスワードが必要になります

検索: 録画再生時パスワードが必要になります

ライブ: ライブ画面表示でパスワードが必要になります

セットアップ: セットアップ画面を出す時にパスワードが必要になります

**保存場所** : バックアップと静止画キャプチャーの保存場所を設定出来ます。

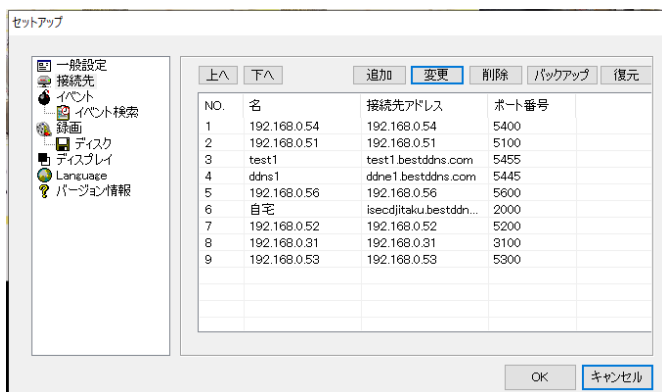
ネットワーク常態: チェックを入れるとネットワークステータスを表示します。(ビットレート・フレームレート)

自動再接続 : ネットワーク接続が切れると、自動的に再接続を試みます。

Automatic connection at startup : チェックすると次回起動日最後に接続したサイトが開きます。

日付の形式: クライアントソフト上の日時表示形式を変更します。

## 2-5-2 接続先設定(Site)



クライアントソフトの接続先を設定します。

Addition(追加) : 接続先を追加登録します。

Modify(変更) : 設定内容を変更します。

Remove(削除) : 接続先を消去します。

Backup(バックアップ) : 接続先リストのバックアップ

復元 : 接続先リストの復元

上へ : 選択した接続先を上へ

下へ : 選択した接続先を下へ

## 2-5-3 接続先の登録

追加を選択

**Model** 接続するレコーダータイプを設定します

SDVR Series、H Series (VWHD-4500/9000/16000)

(E モデル・M モデル・S モデル)

N Series DVR、HD DVR (H412HV)

(NE/M モデル・NS・NHE/M・AHE/M・ATE/M・APE/M モデル)

**接続先名** : 解り易い名称を入力

**接続先アドレス**: レコーダーの IP アドレス又は DDNS のアドレス

**ポート番号**:レコーダーのポート番号

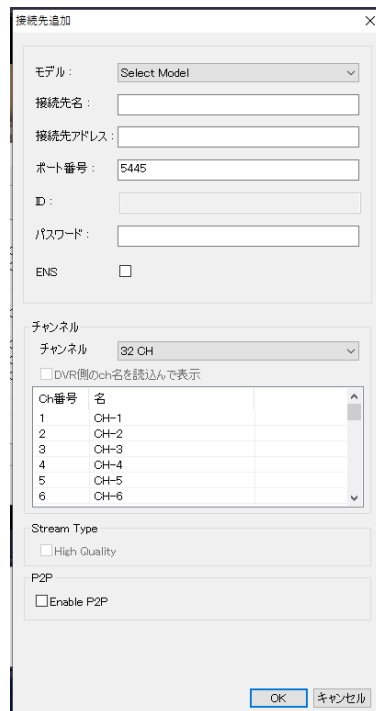
**ID**:N Series DVR、HD DVR は ID を入力

**パスワード**:DVR のパスワード

**ENS** :解像度の表示

**Stream Quality** : ストリームの解像度

**Enable P2P** :



## 2-5-4 イベント設定(Event)・イベントサーチ(Event Search)

ログの保存先と、ログ保存の為のディスクスペースを設定してください。

ネットワーク接続をすると、接続している間の下記でチェックした内容のログを PC のローカルディスク内に保存します。



ログ : チェックした項目のログを保存します。

保存場所 : ログの保存フォルダー

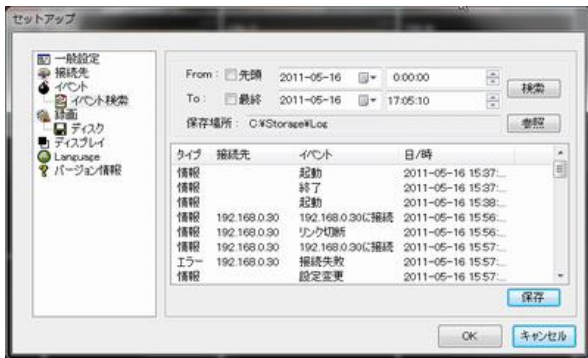
保存容量 : ログを保存する容量です

イベント : イベントの種類

ログ : ログを記録します

ICON : チェックした項目のアイコンをライブ画面で表示します。

イベントリスト: ライブ画面で画面下部のイベント表示ゾーンに表示するイベントタイプを選択します。



PC 内に保存されているログを検索します。

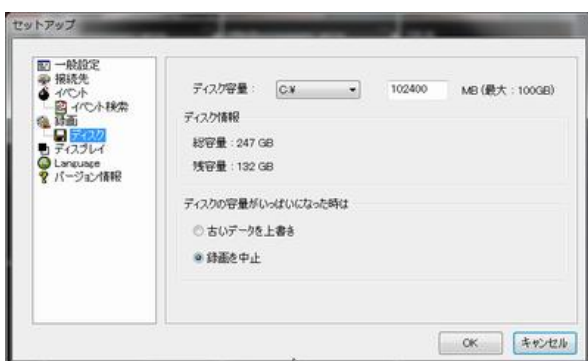
先頭/最終 : チェックを入れるとPC内に保存されている全てのログを検索します。

検索した時間を選択して、Find をクリックすると下部ウィンドウにログが表示されます。 **保存** でテキストファイルを保存出来ます。

### 2-5-5 録画設定(Record)・録画スペース設定(Disk)

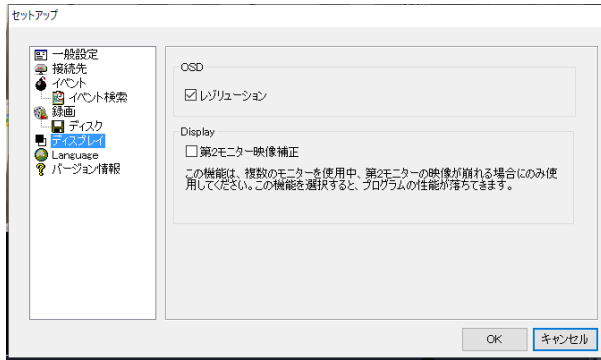


録画オプションを設定します。この設定は DVR の設定ではなく、クライアントソフトでのPCへの録画オプションの設定です。「常時」は Backup ボタンを押している間、「イベント」はモーション、センサー発生時、「自動録画」はクライアントソフトで接続したら自動的に録画を開始する機能です。また録画するchも個別に録画するか、全chを一斉に録画するか選択出来ます。



PCへの録画の際に使用する DISK 容量を設定し、容量超過時、上書きをするか録画を停止するかを設定します。

### 2-5-6 ディスプレイ



OSD レゾリューション

画面に解像度を表示します

PCにサブモニターの機能が有る場合、サブモニターを使用した時画面が乱れた場合にチェックします。

### 2-5-7 言語設定(Language)



ソフトウェアの言語を設定します

日本語表示は Japanese を選択します

この設定はソフトウェアを再起動した時に有効になります。

## 3 レコーダーの遠隔設定変更

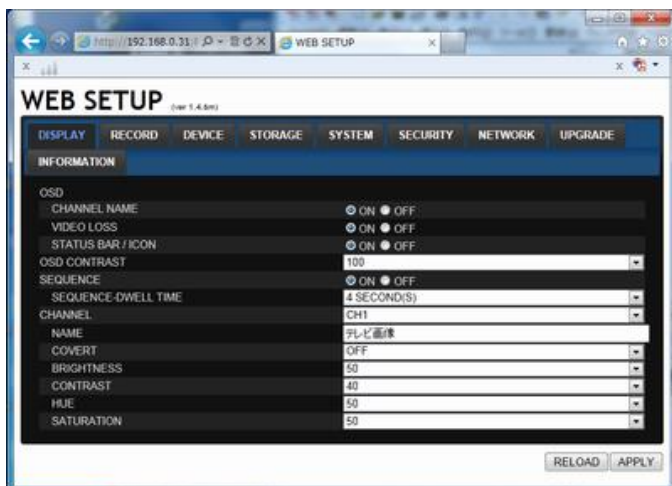
この機能はレコーダー本体の各種設定を LAN やインターネット経由の遠隔地で行う事が可能です。

#### 起動方法

接続が完了し、画像が表示されている状態で画像の上にマウスを置き、右クリックします。



遠隔設定を選択するとパスワード画面が開きます、パスワード入力後セットアップ画面が開きます。



設定内容は本体マニュアルの設定内容を参照願います。

設定変更後 **APPLY** ボタンを押すと設定内容がレコーダーに反映されます

設定が終了したら **OK** ボタンを押します。



